

現代日本論演習／比較現代日本論研究演習 II 「調査的面接の基礎」(2013)

第11講 面接結果について討論 (7/4)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 調査結果の検討

1 今回の課題

グループにわかれて、各自の面接調査の現状とこれまで得られている結果について報告し、報告書草稿とトランスクリプトについて意見を交換する。持ち時間はそれぞれ15分程度。

注意すべきポイント：

- 各対象者の人物像はどのようなものか
- トランスクリプトのどこに対象者の特徴が出ているか
- 対象者による違いや共通点として抽出すべきこと
- 報告書では、トランスクリプトのどこを抜き書きするとよいか
- 今後の面接で注意すべき事項

2 面接の工夫

- 複雑なことを聞いたり、正確な記憶を喚起しておく必要があるときは、あらかじめ調査票に記入しておいてもらったり、資料を用意してもらって、それを見ながら話をすすめることがある
- 重要なデータをとる場合は、録音の二重化を考えてみる